



114
A2790
5

佛蘭西政令上帙卷之五

第四篇

里政治

總論

里ノ一箇ノ人タル事

里ハ郡ト違ヒ一箇ノ人タリ其人タルト州ノ人

タルトノ如ク法律ヲ以テ随意ニ作為スルモノ

ニ非ス里ノ人タルトノ源リ古来ノ事ニシテ

馬地方ノ組立及ルルニ六世千九十年代ノ佛蘭

王ルト云フ大ノ頃里ノ脱軌里民若役ヲ脱スルヲ云

大正十一年四月
限依齋郵寄贈

大藏省

トノ時ヨリ起レルモノナリ

里ハ一箇ノ人タルノ体ヲ存シ而メ亦政令ノ經

畧タリ然レモ里ト地方廳トハ全ク同シ意

ニアラス巴里及ヒリヨリノ如キハ一里ヲ數廳

ニ分チ得可ク又數里ヲ合セテ一廳ニ合シ各已

レノ私有産ヲ領シ一廳ノ區分タリ得可シ

里ニハ私有産アリ歳入出アリ又約定受納讓典

及ヒ訴訟シ得可シ

里ノ所有物ハ三種ニ分ツ公有地私有地及ヒ里

有地ナリ

里ノ公有地ハ公用ニ供ヘタル者ニシテ讓與ス
可カラス亦棄捐ス可クラス此公有地ニ属スル
モノヲ左ニ掲ノ

第一鄙郷道路

但田間ノ小徑ヲ含マサルハ衆論ナリ

第二市街道路除地往還ノ中ニ設ル巷路新道様ノ

凱旋門及塔像吹上水ノ如キ往還ノ饒リ

但シ大街道及州街道ノ路線ノ續キタリ市街

道ハ除ク可シ

第三里ノ鉄道

私有地ハ里ノ都テノ私有品ヲ指シテ云フ蓋シ
人ニ私有品ノ属スル如ク里ノ私有品ハ其里ニ
属ス里ニ属スル動産ノ外私有品タルモノヲ
掲ク

第一市廳及ヒ治安裁判所及警視裁判所小學ノ
用ニ充テタル建設屯兵所其他兵事ニ属スル建
設病院及ヒ教育院大小市場育兒院僧房戲場屠
場墓地等ノ如キ公用ニ充テタル諸建設及ヒ其
他ノ不動産

第二里ヨリ貸渡シ其代金ハ地方官ノ金庫ニ歸
ス可キ所有品是等ハ家屋納屋及野外ノ所有品
等ナリ

里有品ハ其品物ヨリ産スルモノヲ受用スルハ
里ノ住民ニ属スルモノヲ云フ故ニ是等ハ通例
森林牧野不毛地等ナリ猶之ヲ精細ニ云ハハ國
或ハ平人ノ所有ノ森林等ノ羨餘品ヲ所得トス
ルノ權ノ類ナリ

住民ニ許シアル受用ノ權ハ民法六百二十五條
ニ規定シアル如キ真ノ所得ノ權ニアラス所有
ノ權ハ全ク里ニ属シ産スル所ノ物ヲ受用スル

ノ住民ノ権ハ有力ノモノニ非ス

里會ニ於テ里有品ヲ受用スルノ権ヲ定メ而メ
其里有品ハ貸渡シ或ハ賣渡ヲ受ク可シ

森林ノ法ニ從ヒ住民ハ薪ヲ採ルノ権ヲ隨意ニ
用ヒ得可シ民法ノ六百三十一條ニ載スル所得
ノ権ト大ニ異ナル所アリ受用スルノ権ハ住民
ニ屬スト雖モ其林ノ為メニ稅ヲ納ルハ里ニ屬
ス

里ハ貸主トモ借主トモナリ得可シ貸主タル時
ハ通法ニ從フカ故ニ負債者ノ不動産ニ收納抵

當ノ権ヲ及シ得可シ

借主タル時ハ國或州或教育院等ノ如ク命令ノ
式ヲ以テスルニ非サレハ裁判ヲ受ク可カラズ
里ノ負債ハ約定或ハ約定ニ類スルモノヨリ生
スルノニニ非ス犯罪或ハ犯罪ニ類スルモノヨ
リモ亦生ス可シ故ニ衆人徒黨シテ土地ヲ擾乱
シタル損害ニ付里ノ責ニ任ス可キ事ヲ第四年
葡萄月十日ノ法律ヲ以テ布告セリ尤徒黨ハ旅
人ニシテ防禦ノ方略ヲ盡シタルノ確証アル時
ハ此例ニアラス此法ハ里ノ責ニ任スルヲ嚴ニ

命シタルモノナリ取り上ケタルモノヲ返サハ
ル時ハ里ヲシテ其直ノ二陪ヲ拂ハシム里ノ住
民其里ニ起レル犯罪ニ徒黨シタル時ハ里ヲシ
テ原犯ノ償金高ニ當ル罰金ヲ拂ハシムル事ヲ
命ス然ルニ此法ハ巴里ニハ當テ難シ如何トナ
レハ千八百五十一年十二月廿四日ノ制誥ニ從
ハハ國都ニ於テ起レル犯罪ノ責ニ任スルモノ
ハ則國ナレバナリ

里ノ合併分割及ヒ新置

各格段ノ利益ヲ存シタル里ノ數區分ヲ一地方

廳ニ於テ関轄シ得可シ此區分ヲ名ツケテ里ノ
區分ト云フ

然ラハ里ノ區分ハ即テ里ノ一部分ニシテ已レ
ニ屬スル私有地ヲ所持シ同シキ地方廳ニ從フ
タル里ノ一部分ナリ其レ故ニ里ノ區分ハ一介
ノ人タルノ本分ヲ持テテ政令上ノ經界ニハア
ラズ

里ノ經界ヲ變スルニハ三種アリ第一數里ヲ一
里ニ合スルアリ第二里ノ一區分ヲ取りテ之ヲ
他里ニ加フル事アリ第三里ノ一區分ヲ取りテ

新ニ一里ヲ置ク事アリ
里經界ノ此數種ノ變換ハ多少ノ式ヲ行ヒ諸官
署ノ許可ヲ要ス

變界ニ關係アル諸里ニ前以テ詮議スルヲ州
知事ヨリ命ス里會ハ里會ノ負數ニ匹敵スルノ
人數ヲ里中ニ於テ收稅ノ充多キモノ、中ニ舉
ケ之ニ列セシメ郡會及ヒ州會ト共ニ已レノ意
見ヲ述ブ又變界ノ企ハ里ノ一區分ニ關係アレ
ハ一ノ委負ヲ設ケ此委負ヨリモ亦意見ヲ述ブ
千八百六十七年七月廿四日ノ新法ニ從ヘハ變

界ハ州知事ノ決定ヲ以テ許可スル事アリ亦代
法制詰ヲ以テ許可スル事アリ
里ノ經界ノ變改ハ唯一ノ邑中ノ里ニ關スレハ
州知事ノ決定ヲ以テ足レリトス尤里會ノ承諾
及ヒ州會ノ同意ヲ要ス
若シ州會ニ於テ同意セサルカ或ハ里ノ經界ノ
變換ヨリシテ州郡邑ノ經界ニ關係スレハ法ヲ
以テスルヲ要ス
此兩項ニ掲ケサル他ノ變界ハ都テ代法制詰ヲ
以テ許可ス

千八百三十七年七月十八日ノ法律ノ第五條及
第六條ヲ以テ里ノ合併或ハ分割ニ付キ里屬ノ
品物ノ取扱方ヲ規定ス此取扱方ニ付キ三種ノ
假リノ定メアリ

第一數里ヲ合併シ一里ヲ置キタル時ハ從屬シ
タル里ノ住民ハ是迄產物ヲ受用スルノ權ヲ及
ボシ來レル所有品ヲ受ルノ權アリ然レモ公用
ニ充タル建設其他ノ不動產ハ關轄スル里ノ所
有品トナル可シ

第二里ノ一區分ヲ他ノ里ニ附シタル時ハ區分

ニ屬シタル所有品ハ其儘其區ニ屬ス其地ニ備
ヘ公用ニ充タル建設及ヒ其他ノ不動產ハ管轄
里ノ所有タル可シ

第三里ノ一區分ヲ分割シテ新ニ新里ヲ置ク時
ハ區ニ屬シタル所有品ハ新里ニ屬其地ニ備ヘ
公用ニ充タル動產及ヒ不動產ハ旧里ノ所有タ
ル可シ

里ノ合併分割或ハ新置ヨリシテ里或ハ里ノ區
分ノ着ルキ害ヲ生スル事アリ如何トナレハ建
設等ハ同地ニ備ヘ置クヲ要スルモノアレハナ

リ此不便利ヲ補フニハ合併或ハ分割ヲ言渡ス
文書ヲ以テ他ノ便利ノ方法ヲ極ムルヲ千八百
三十七年ノ法律ノ第七條ヲ以テ許可シタリ
然レ氏司法裁判所ニ償金ノ訴訟ヲ為スハ分権
ノ原則ニ戾ル事アルカ故ニ之ヲ為スヲ許サス

里ノ官署

各里ノ官署ハ里長一人副里長一人或ハ數人及
ヒ里會トヲ以テ組立ルモノナリ
里長ハ執行事務ヲ司リ里會ハ評議及ヒ聽訟事
務ヲ司ル

是ヨリ以下里ノ諸官署ノ組立及ヒ職ヲ説ク可
シ

里長及ヒ里會

組立

地方ノ組立ヲ規定シタル法律ハ千八百五十五
年五月五日ノ法律ナリ此法律ハ千八百三十一
年三月廿一日ノ法律千八百四十八年七月三日
ノ制誥及ヒ千八百五十二年七月七日ノ法律ノ
代ト為スモノナリ

里長及ヒ副里長

里長ノ命シ方

里長及ヒ副里長ハ州郡邑ノ首市及ヒ三千ノ住民アル里中ニ其職ヲ奉スレハ国君ヨリ命ス其
他ノ里ニ於テハ州知事ヨリ命ス

里長及ヒ副里長ハ千八百五十二年ノ建国法ニ
從テ里會中ニ取ル可ラス千八百三十一年ニ於
テハ里長及ヒ副里長ハ里會中ニ取ルヲ要セリ
千八百四十八年ニ於テハ里會ニ於テ撰奉セリ
但州郡邑ノ首市及ヒ六千以上ノ住民アル大里
ニ於テハ此撰奉ノ例ヲ用ヒス

里長及ヒ副里長ハ在職五年ナリ千八百三十一
年ノ法律ヲ以テ規定スル如ク在職三年ニ非ス
里長及副里長ハ期限ニ至ルトモ後任ノ命令ア
ル迄ハ其職ヲ勤メ續ク可シ

里長及ヒ副里長ノ職ヲ奉スルニ必要ノ諸件
十五歳以上ニシテ里ノ直稅簿ニ記載シアル者
ヲ要ス千八百三十一年ノ法律ヲ以テハ直稅ヲ
拂フモノヲ望マスシテ土地ニ居住スルモノヲ
要シタリ

千八百五十五年ノ法律ヲ以テ兼勤ス可ラサル
モノヲ加増シタリ故ニ左ニ記スル所ノモノハ
里長及ヒ副里長ノ職ヲ奉スルヲ得ス

第一州知事郡知事摠書記及ヒ州知事評議役

第二諸裁判所及ヒ治安裁判所ノ官吏但準備裁

判役ヲ除ク

第三僧官

第四海陸軍士及ヒ其屬吏ノ現ニ職ニ居ル者及

ヒ現ニ職ニ居ラサレ兵役ヲ脱ス可ラサル者

第五現ニ職ニ居ル道路橋梁ノ築造師及ヒ礦山

師及道路巡查吏

第六理賤及ヒ森林ノ屬吏

第七警部ノ諸吏

第八里學校ノ諸吏及ヒ里學校或ハ私學校ノ教

師

第九里ノ歳入ノ勘定役及請負人及ヒ里ノ俸給

ヲ受ケ居ル諸吏

里長ヨリ給ヲ受ケ居ル代理人ハ其副里長トナ

リ得可ラス且里長及ヒ副里長ノ職ト護兵ノ勤

トヲ兼ヌ可ラス千八百六十七年七月廿四日ノ

法ヲ以テ一里ニ於テ里長或ハ副里長タル者ハ
他里ニ於テモ里會議負タルヲ得サル事ヲ示シ
タリ
里ノ官署ノ諸官吏ノ如ク里長及ヒ副里長ノ職
ハ無給ナリ尤里會ニ於テ在職中休業ノ費ヲ給
スルノ權ハ里會ニアリ

副里長ノ數及其勤務

各里ニ於テ里長ハ一人ニ限レモ副里長ノ負數
ハ里ノ人負ノ多少ニ從ヒ遠ヒアル可シ
住民二千五百人以下ノ里ニ於テハ副里長一人

ナリ二千五百人以上一万人迄ノ里ニ於テハ二
人ナリ一万人以上ノ里ニ至リテハ住民二万毎
ニ一人ノ當ヲ以テ副里長ヲ增加ス可シ
里長ノ不在或ハ故障アル時ハ任除ノ順序ニ從
ヒ副里長ノ内一人之ニ代ス里長及ヒ副里長ノ
不在或ハ故障アル時ハ里長ヲ代スル者ハ州知
事ヨリ示シタル里會議負ナリ
若シ州知事ヨリ指示ナケレハ投票ノ數ニ從ヒ
兼テ作リアル順番表ノ首筆ニ居ル里會議負代
リテ里長ノ職ヲ勤ム

里長ハ我カ職掌ノ一部分ヲ副里長及ヒ里會議
員ニ托シ得可シ外ニ副里長ニハ里長ヲ輔ケテ
為ス可キノ職掌ヲ法律ヲ以テ與ヘタリ故ニ副
里長ハ直税ノ配當委員ノ員タリ得ヘク司法警
部ノ職ヲ行ヒ得可ク撰挙組ノ事務局ニ首坐シ
得可シ

停止及ヒ廢棄

里長及ヒ副里長ハ諸里共ニ州知事ヨリ停止ノ
命ヲ受ク可シ然ルニ停止ノ命ハ二个月ノ期限
中ニ内務長官之ヲ確定スルニ非サレハ期限後

ハ旧ニ復ス可シ廢棄ニ至テハ假令州知事ヨリ
命シタル里長ト雖モ國主ニ於テ命ス可シ
内務長官ニ於テ州知事ノ停止ノ命ヲ確定シタ
ル時ハ里長ノ在職五年ノ期限ノ満ル迄停止ス
可シト雖モ廢棄ト同一ナラス如何トナレハ停
止ハ里長ニ其尊称ヲ存シ置キ唯其職ヲ行フヲ
止ムルノミナレバ廢棄ハ里長ノ尊称モ其分限
モ職ト共ニ消滅スレバナリ

里會

里會ノ組立及ヒ其員ヲ命スル事

里會ノ議員ハ國會州會及ヒ郡會議員ヲ撰挙スル所ノ撰挙人即チ年齡廿一歳ニシテ民権及ヒ政權ヲ受ケ六個月以來里中ニ居住スルモノニテ撰挙スルナリ

里會議員ノ数ハ里ノ人員ニ從ヒ十人ヨリ三十人迄ノ差異アリ其差異左ノ如シ

里會議員十人	五百人以下ノ里
同 十二人	千五百人ヨリ
同 十六人	二千五百人ヨリ
同 二十一人	三千五百人ヨリ

同 二十三人 三千五百一人ヨリ

同 二十七人 一万一人ヨリ

同 三十人 三万人ヨリ

同 三十二人 四万人ヨリ

同 三十四人 五万人ヨリ

同 三十六人 六万人以上ノ里

里會ノ撰挙ハ州會及ヒ郡會ノ撰挙ト畧同様ナリ撰挙ノ規則ハ千八百五十五年ノ法律ノ第三篇ノ二十七条ヨリ四十九条迄ニ記載セリ茲ニ州郡會ト里會トノ差異ノ件々ヲ記ス

第一里會議員ノ撰挙ハ名簿ニ付テ撰挙ス然レ
氏州知事ハ其評議所ニ於テ作りタル決定書ヲ
以テ一里ヲ数组ニ分テ撰挙人ノ人負ニ從ヒ撰
挙ス可キ議員ノ負數ヲ撰挙組ニ配當シ得可シ
州及ヒ郡ノ撰挙ハ國會議員ヲ撰挙スルカ如ク
人毎ニ撰ム唯一人ノ充撰人ヲ挙ルノミナリ
第二里會ノ撰挙ニ付キ撰挙事務ヲ輔佐スルモ
ノ四人ハ撰挙會ニ列席シタル撰挙人ノ内最少
年ノ者二人最高年ノ者二人ナリ皆讀文寫字ヲ
會シ得ル者ヲ要ス州郡ノ撰挙ニ付テハ表ノ順

序ニ從ヒ首筆ニ居ル里會議員四人ヲ挙ク是亦
讀文寫字ヲ會スル者ヲ要ス
第三里ノ撰挙ニ付キテ再撰スルノ要用アル時
ハ同日ニ非サレハ次日曜日再撰ヲ起ス可シ
州或ハ郡ノ撰挙ニ付テハ第三ノ日曜日追送ル
ヲ要ス

議員トナル必要ノ件々

里會議員ノ職ヲ受テ得可キモノハ年齡廿五歳
ニシテ民権及ヒ政權ヲ受ケタルモノヲ要ス千
八百四十八年ノ頃ハ里ニ居住スルカ或ハ其里

ニ直税ヲ拂フカヲ要セリ

千八百五十五年ノ法ハ撰ニ充可ラサルト兼勤
ス可ラサルトヲ區別セリ撰ニ充可ラサル事ハ
撰拳ノ時ニ當リテ撰ニ充可ラサルノ件アレハ
其後此件消滅スルト由テ撰拳ニ充可ラス兼勤
ス可ラサル事ハ充撰人ノ代ヲ撰拳スルニ至ル
以前ニ兼勤ス可ラサルノ件消滅スレハ撰ニ充
ルニ障リナシ

左ニ記ス所ノ人々ハ里會議員タルヲ得ズ

第一里ノ出納役及ヒ里ヨリ俸ヲ受ルノ役人

第二里ノ公益トナル事業ノ開業人

第三役僕

第四里ノ公費ニ給スルヲ免レタル者及ヒ慈惠
ノ建設ノ救助ヲ仰キ居ル者

里會議員ノ職ハ左ニ記ス所ノ職ト兼勤ス可ラ
ス

第一州知事郡知事摠書記及ヒ州知事評議役

第二警部ノ役人

第三在職ノ海陸軍士及ヒ屬吏

第四里ニ於テ職ヲ奉シ居ル僧官

猶左ノ件々ヲ茲ニ加増ス可シ
一時ニ數里ノ議員タルヲ得ス
五百人以上ノ里ニ於テハ父子兄弟ノ等級ノ親
族及ヒ同等ノ縁族ハ同シ里會ノ員タルヲ得ス
千八百六十七年七月廿四日ノ法律ニ從ヒ里會
議員ハ一時ニ他ノ里長及副里長タル可ラス

奉職期限

千八百五十五年ノ法律ニ從ヘハ里會議員ハ在
職五年タリ千八百六十七年七月廿四日ノ新法
ヲ以テハ爾後議員ハ在職七年ト定メタリ此ノ

如ク新法ヲ設ケタル原意ハ里會撰挙ト里長及
ヒ副里長ノ交代ト同時ニナリテ不都合アルヲ
避シカ為メナリ

死亡失権明黙ノ退職ヨリシテ議員ノ闕クル時
ハ其闕員里會總議員ノ四分ノ三ニ至ラサレハ
補闕ヲ立テス

撰挙事務ノ訴訟

里會撰挙ヨリ起レル争訟ハ州會及ヒ郡會撰挙
ノ規則ト同則ニ從フ可シ故ニ其訴訟撰挙ノ曲
直ニ拘ハル時ハ州知事評議所ニ於テ裁決シ充

撰人ノ身分ニ拘ハル時ハ民事裁判所ニ於テ裁
決ス

里ノ組立ニ付キ出セル千八百五十五年ノ法律
ノ四十五ヶ条ヨリ四十七ヶ条迄ハ州會及郡會
ノ組立ニ付キ出セル千八百三十三年ノ法ト違
ヒ身分ニ拘ハル争論ハ州知事評議所ヨリ民事
裁判所ニ送リタル上此裁判所ニテ決裁ス可キ
措梯ノ事件タル事ヲ詳細ニ記載シ且ツ撰挙ヲ
廢棄スルノ願ヲ一个月ノ期限内ニ州知事評議
所ニ於テ裁決セサル時ハ願ヲ受理セサルト見

認ム可キ事ヲ記載セリ尤国議院ニ上告スル事
アリ其他ノ諸件ハ州會撰挙ノ聽訟事務ノ章ヲ
見ル可シ

里會ノ組立ト州會及ヒ郡會ノ組立ト差異スル
ノ諸件ヲ左ニ掲ク

第一里會ノ議員ハ十人ヨリ三十六人ニ至ル州
會及ヒ郡會議員ハ州或ハ郡中ノ邑ノ員數ト匹
敵スルノ人負ナリ但郡會議員ハ九人ヨリ下ル
可ラス

第二里會議員ハ千八百六十七年ノ法律以來在

職七年ニシテ变换スルヲナシ州會議員ハ在職
九年ニシテ三年毎ニ三分一ヲ变换シ郡會議員
ハ在職六年ニシテ三年毎ニ其半ヲ变换ス
第三里會議員トナルモノハ二十五歳ニシテ民
推及ヒ政權ヲ受ルヲ以テ足レリトス州會及ヒ
郡會議員トナルニハ此外ニ猶州或ハ郡中ニ居
住スルカ或ハ直税ヲ拂フタルカヲ要ス
第四里會撰挙及ヒ州會撰挙ハ兼勤ス可ラサレ
事及ヒ撰ニ充可ラサル事ノ件ニ付キテ同一十
ラス州會撰挙ハ親族或ハ縁族ヲ以テ妨クル事

ナシ

第五里會撰挙ハ現ノ撰挙ヨリ次ノ撰挙迄ノ間
ニ闕員アル時之ヲ補フハ里會議員ノ總數四分
ノ三ニ闕員數ノ至ラサル迄補フニ及バズ州會
撰挙ハ闕員アレハ二月中ニ其員ヲ補フ

里會ノ會合

里會ハ年々四度ノ常會アリ又別段ニ許シアリ
テ非常會ヲ起スモ妨ナシ
常會ハ二月五月八月及ヒ十一月ノ月始ニ會ス
會合ノ日限ハ各十日間ナリ其中五月ノ常會ハ

最重立タルモノナリ如何トナレハ此常會ニ於
テ畢リタル仕拂期限ノ會計ヲ正シ及ヒ来ル仕
拂期限ノ入出簿ヲ定ムルカ故ナリ此常會ヲ名
ツケテ理財會合トモ云ヘリ

議負ヲ召フニハ里長ノ文書ヲ以テス

常會ト非常會トハ着ルキ差異アリ即チ左ニ掲

ク

第一常會ハ別段ニ許シテシニ集會シテ當然ナ
リ非常會ハ別段ニ命令アルカ或ハ許シアルニ
非サレハ會合ス可ラズ州知事或ハ郡知事ハ非

常會ヲ起スヲ命シ得可ク又里長ノ願ニ依テ許
可シ得可シ格別ノ事件ノ為メニハ里會ノ負ノ
三分一ノ願ニ依テ非常會ヲ州知事ニテ許シ得
可シ若シ州知事之ヲ拒ム時ハ之ヲ拒ムノ道理
ヲ辨解セサル可ラス

第二常會ノ為ニハ召集ト會合トノ間ノ期限ハ
三今日ナリ非常會ノ為メニハ五今日ナリ尤至
急ナル時ハ郡知事ヨリ期限ヲ減シ得可レハ此
例ニ非ス

第三常會ニ於テ里會ハ其職ニ関スル諸事件ヲ

治理シ得可シ非常會ニ於テハ別段ニ會合ヲ要
シタル事件ノミヲ治理シ得可シ依テ召集ノ時
ニ豫メ事件ヲ定メ置ク可シ

里會ハ其員ノ過半ノ出席ニ非サレハ評定シ得
可ラス然レトモ八日ツ、ノ時間ヲ置キ引續キ
テ二度召集メ議員猶十分ニ集ラサル時ハ第三
ノ召集メノ後ニ為シタル評定ハ假令出席議員
ノ人数不足スルトモ行フ可キモノトス
引續キタル三度ノ召集メニ正シキ道理ナクシ
テ應セサル里會議員ハ退職モノト州知事ヨ

リ布令ス可シ尤布令ノ日ヨリ十日以内ニ州知
事評議所ニ上告スル事アリ

議員ハ名簿ノ順序ニ從ヒ列坐ス決定ハ投票ノ
半ハ以上ノ數ヲ取ル出席ノ議員三人ヨリ求メ
アレハ秘密ノ投票ヲ為シ得可シ
里會ノ員ハ自分或ハ代理人ノ名ヲ以テ自ラ関
係アル事件ニ係リテハ評定ニ加ハリ得可ラス
里長ハ里會ニ首坐シ投票匹敵スル時ハ里長ノ
組スル方ヲ取ル可シ
副里長若シ里長ノ代トナル時ハ里長ノ權ヲ受

ク可シト雖モ里會ノ負ニ非サルカ故ニ里長ノ代タルニ非サレハ唯評議ノ権アルノミ

里會ニ於テハ會合ヲ開ク時ニ其負ノ一人ヲ命シテ書記ノ職掌ヲ勤メシム

里會ノ會合ハ公明ナラス州會ノ會合ノ公明ナル事ヲ許シタル千八百四十八年七月三日ノ法律ノ項モ同様ナリ

評定ハ日付ノ順ニ從ヒ番號ヲ付ケ及ヒ郡知事ノ印ヲ押シタル簿冊ニ記シ出席シタル負ノ調印アル可シ若シ調印セサルニハ其道理ヲ記

シ置ク可シ評定ノ寫シヲ八日中ニ州知事或ハ郡知事ニ送ル可シ

里民ハ郡會ノ評定ノ通達ヲ求メ得可ク又寫シヲ取ル事ノ権アリ

千八百五十五年ノ法律ノ第廿三个条及ヒ二十四個条ヲ以テ左ノ評定ハ無用ノモノトス

第一正シキ會合ニ非スシテ為シタル里會ノ評定

第二職ニ非ル事件ニ付キ為シタル里會ノ評定
此兩項ニ於テハ州知事ハ其評議所ニ於テ評定

ノ無用ナル事ヲ言渡ス然レモ第二項ノ个条ハ
里會ヨリノ訴訟アル時ハ國議院ニ於テ作ル所
ノ帝ノ制誥ヲ以テ裁決ス

里會ノ停止及ヒ解散

里會ヲ州知事ハ停止シ得可シ若シ里會ハ他ノ
里會ト往復スルカ或ハ自ラ直チニ公布シタル
時ハ州知事直チニ停止ヲ言渡ス可シ
千八百五十五年ノ法律ノ二十五個条ヲ以テ右
ノ停止ノ場合ヲ示シタレモ全ク停止スルノ道
理ハ州知事ノ隨意ニ屬ス故ニ州會或ハ郡會ノ

為メニ停止ヲ言渡シ得可キ場合ニ非サレハ停
止ヲ言渡スヲ許サレモ從前ノ法ニ新ノ規則ヲ
加ヘタリト云フ可シ

州知事ノ命セル停止ハ二个月間ナリ然ルニ内
務長官此停止ヲ一ケ年間引續クルヲ得可シ
里會ハ帝ニ非サレハ解散シ得可ラス

里會解散ノ時ト同シク停止ノ時ニ於テモ一ノ
委員ヲ設ケテ里會ノ職ヲ任ス停止ノ時ハ委員
ヲ州知事ヨリ命シ解散ノ時ハ里長ヲ命スルノ
區別ニ從ヒ帝ノ命スル事アリ州知事ノ命スル

事アリ委任ノ負數ハ里會ノ定員ノ半ニ減ス可
ラス
千八百五十五年ノ法ヲ以テ解散ノ後ハ里會ノ
新撰ノ時限迄委任ヲシテ其職ヲ引續ケシムル
ヲ許セリ然ルニ里會ノ奉職期限ヲ七今年ト定
メタル千八百六十七年七月廿四日ノ法ヲ以テ
委任ノ職ヲ續クルハ三今年ト定メタリ

職

里長及ヒ里會ノ職ハ千八百三十七年七月十八
日ノ建國法ヲ以テ規定ス之レニ千八百五十二
年三月廿五日及ヒ千八百六十一年四月十三日
ノ制詔及ヒ千八百六十七年七月廿四日ノ新法
ヲ参考セサル可ラス

里長ノ職

里長ノ職ハ事務多端ニシテ体裁モ亦種々ナリ
先ツ民事或ハ司法ノ職ト政令事務ノ職トヲ區
別ス可シ此職ヲ區別シテ大ニ利益アリ如何ト
ナレハ第八年ノ建國法ノ七十五个条ニ從ヒ官
吏ハ其職掌ニ拘リタル事件ニ付キテハ國議院
ノ許可ナケレハ裁判所ニ於テ裁判シ得可ラス

レハナリ國議院ノ許可ヲ要ルハ唯政令事務ノ
職掌ニ拘ハル所為ノミニ限ル可シ

民事或ハ司法ノ職ヲ以テ里長ハ数多ノ勤務ヲ
勤ム

里長ハ生死婚姻ノ届ヲ受ルノ任アル民生ヲ
司ルノ官吏ナリ

重罪輕罪及ヒ違戾ヲ監察シ其證據ヲ集メ及
ヒ其犯人ヲ裁判所ニ引渡スノ任アル司法警
部ノ官吏ナリ

邑ノ首市ニ非ル里中ニ於テハ治安裁判役ニ

歸セサル事件ニ付キテハ警視裁判役ナリ

里長ハ警視事件ニ付キテハ治安裁判役ノ側
ニアリテ國代ノ職ヲ勤ム尤警部區長ノ不在
ノ時ニ限ル可シ

此職ニ居ル時ハ里長ハ國代ノ管下ニアリ司法
ノ官署ノ支派ニシテ政令官署ノ支派ニ非ス
政令ノ職ヲ以テ里長ハ又種々ノ体裁ヲ存ス
第一國廳ノ代人タリ或ハ里ノ代人タリ

第二執行事務職タリ亦政令上ノ裁判役タリ
里長ハ元來執行事務職ニシテ政令上ノ裁判役

ノ職ヲ勤ムルハ實ニ稀ナリ今茲ニ國廳ノ代人
トナリ及ヒ里ノ代人トナリテ勤ムル所ノ職掌
ヲ説キ次テ聽訟事務ノ職ヲ説ク可シ

國廳ノ代人

里長ハ政令ノ上司ヨリ示諭及ヒ命令ヲ受ケテ
其管下ニ属ス故ニ法律ヲ以テ里長ニ命シタル
勤務ヲ行フヲ里長ニ於テ怠ルカ或ハ拒ム時ハ
州知事ヨリ之ヲ催シタル後猶行ハサル時ハ州
知事ハ自ラ之ヲ行ヒ或ハ已レノ代人ヲ以テ之
ヲ行ハシム

政令ノ上司ノ管下ニアリテ里長ノ任スル事左
ノ如シ

第一法律及ヒ規則ノ公布及施行

法律ヲ布令スルハ民法ニ從ヒ頒布ノ日ヨリ
始メテ定リタル期限ノ後ヲ布令濟トス
里長ハ至急ナル時カ或ハ普ク布令ヲ届カシ
ムル為メニハ張紙シ具ヲ吹キ或ハ大鼓ヲ以
テ布令ヲ密ニスルノ任アリ

第二特別ノ法律ヲ以テ里長ニ命シタル格段ノ
職掌

里長ハ撰挙名簿ヲ検査シ募兵ノ事件ニ付キ
テハ邑ニ當テタル人負テ滿タス為メニ拈鬮
シタル少年ノ募兵簿ヲ作り直税ノ事件ニ於
テハ州知事ノ施行ス可キト布令シタル簿冊
ヲ布令スル事公用買上ノ事件ニ付テハ買上
ケニ當リタル物品ヲ示ス所ノ明細圖ヲ里廳
ニ作り置き其後關係アルモノヨリ出ス訴状
ヲ受ル事ノ任アリ

第三諸省長官或ハ州知事ヨリ命シタル一般ノ
安寧ノ方法ヲ施行スル事

里ノ代人

里長ハ政令ノ上司ノ管轄中ニアリ其上司ハ里
長ニ唯教示シ得可キノミ里長ハ獨断ヲ以テ處
置スルノ権アリ政令ノ上司ハ只検査シ及里長
ノ處置ヲ廢棄スルノ権アルノミニシテ里長ニ
代リ處置スルノ権ナシ
政令ノ官署ニ於テ里長ニ令シタル教示ヲ行フ
ヲ里長ニ於テ怠ルカ或ハ拒ム時ハ政令官署ハ
里長ヲ廢シテ其代ヲ立ルノ外他ナシ
里ノ代人タルノ名ヲ以テ里長ハニツノ職ヲ任

ス即チ地方官吏ノ職ト里代人ノ職トナリ
第一地方官吏ノ職ニアリテハ里長ハ地方ノ取
締リ鄙郷ノ取締リ地方道路ノ取締リヲ監察シ
上司ヨリ出ス所ノ文書施行ニ注意ス
地方取締リノ件々ハ千八百三十七年ノ法律第
十个条第一款ニ從ヒ左ノ如シ
往還ノ静謐及ヒ便利
一般ノ安寧ヲ害スル犯罪ノ懲戒
市會ノ取締ヲ為ス事
食物ヲ清潔ニシ及穀果蔬菜ノ如キ食料商人ヲ

シテ忠実ナラシムル事

天変及ヒ時患ノ防禦及ヒ消除ノ方法
觀覽場取締

千七百九十一年七月十九日二十二日ノ法ヲ以
テ麵包及肉舖ノ肉ニ稅ヲ當ル事ヲ里長ニ許シ
第十二年五月二十三日ノ制誥ヲ以テ墓地ノ取
締ヲ里長ニ托セリ
鄙邑ノ取締ニ付テハ千七百九十一年九月廿八
日及ヒ十月六日ノ法律ヲ以テ野外静謐清淨及
安全ヲ監察スル事ヲ里長ニ任セリ

里長ハ葡萄ノ收納ノ布告ヲ為シ得可キヤ否
セリニト氏ノ説ニ此權ハ千七百九十一年ノ法
ニ從ヒ里會ニ歸スト云ヘリ實ニ此法ヲ以テ藩
籬ナキ葡萄園ニ付キテハ年々規則ヲ作ル事ヲ
里會ニ任シタリ

バトビー氏ハヌルリン氏ノ説ニ從ヒ布告スル
ノ權ハ里長ニ歸スト云ヘリ如何トナレハ是ハ
執行事務ノ職ニ屬シ千八百三十七年ノ法律ヲ
以テ里會ニ於テ規定シ得可キ諸件ノ中ニ加ヘ
ス殊ニ里會ノ四度ノ常會ハ葡萄收納ノ時ニ會

セサレハナリ

然ラハ里長ハ草刈時收納時及牧畜ノ布告ノ如
キ布告ヲ為シ得可キヤ否

司法ニ於テハ葡萄收納ノ布告及ヒ其他規則ヲ
以テ許シアル其他ノ布告ニ違戾スル者ハ六フ
ランクヨリ十フランク迄ノ罰金ヲ以テ戒メタ
ル刑法ノ四百七十五个条ノ第一款ニヨリテ然
リト決定セリ

此項ニ付テハバトビー氏ハ「セリニ」氏ト同説
ニシテ此權ヲ里長ニ予ヘズ蓋シ此等ノ布告ハ

千七百九十年ニ於テ廢棄シ及ヒ千七百九十一年ノ鄙邑法ヲ以テ廢棄シタレハナリ
千八百五十五年五月五日ノ法律ノ五十个条ヲ以テ四萬人以上ノ州ノ首市ニ於テハ州知事ヲ任シテ警部長ノ職ヲ為サシメタリ然ルニ千八百六十七年七月廿四日ノ新法ヲ以テ此个条ヲ廢棄シテ地方取締ノ權ヲ全ク里長ニ委子タリ此法ヲ以テハ前ニ記スル如キ都會ニ於テハ警部役ノ身分ノ組立方ハ里會ノ意見ヲ聞キ國議院ニ於テ作ル制誥ヲ以テ規定スルヲ望ム且警

部ノ巡察役護兵及警部ノ屬吏ヲ命スルニハ里長ノ上申ニヨリ州知事ニテ之ヲ命スト定ム
里長ハ地方或ハ鄙邑ノ取締ヲ任シタル地方官吏タルノ職ヲ以テ里會ノ仲裁ナクシテ獨權ヲ以テ行フナリ
里長ハ或時ハ規則トナル決定ヲ以テシ或時ハ特別ノ決定ヲ以テ處分ス是等ハ專ラ路線脩正ノ事件ニ関スルモノナリ
規則トナル決定ハ布告シタル後ニ非サレハ有カノモノニ非ス特別ノ決定ハ關係アル双方ニ

報知シタル後ニ非サレハ有力ノモノニ非ス
規則トナル決定ハニツニ分チ一ハ永久ノ決定
一ハ假ノ決定ナリ

決定ヲニツニ分ツヨリシテ生スル所ノ利益ヲ
左ニ記ス

永久ノ決定ハ郡知事ヨリ渡シタル受取書ノ日
付ノ後一个月ヲ越ヘサレハ行フヲ得ズ假令此
一个月ノ期限ヲ越ユルト雖モ其決定ヲ廢棄ス
ルノ權ハ州知事ニアリ尤一タヒ決定ヲ施行シ
タルヨリシテ不廻ノ權利一タヒ施行シタルモ
廢棄ヲ令スト虫モ

既ニ其地ノ固有トナリテ遂ニ廢セサルモノアリ
是ヲ名ツケテ得ラレタルノ權利ト云今仮ニ
不廻ノ權ハ存スルヲアリ
利ト譯ス

若シ決定ヲ一个月ノ期限内ニ許可シタル時ハ
直チニ行フ可シト布令ス可キマ否

是レニ付キテハ種々ノ議論アリ

道理家ノ説ニハ可ト答ヘタリ如何トナレハ州
知事ニ許シアル一个月ノ期限ハ州知事ヲ開明
スル為メノミニシテ至急ナル時ハ州知事ノ許
可ノ後ハ直チニ行ヒ得可キノ理ヲ以テナリ
駁議裁判所ノ裁判ハ否ト云ヘリ是ハ法律ノ文

面ヲ推シテナリ律ノ八百三十七年ノ法

假リノ決定ハ直チニ行フ可シ然レモ廢棄スル

ノ權ハ常ニ州知事ニアリ而メ不回ノ權利ハ存

スルナリ

州知事ハ種々ノ決定ヲ廢棄シ停止スルノ權ヲ

有スト虫モ決定ヲ變改スルノ權ヲ有セズ

若シ變改スルノ權アル時ハ州知事ハ里長ノ代

トナルカ故ニ州知事ニハ唯禁止ノ權ヲ與フル

ノミ而シテ州知事ハ里長ノ職ヲ停止スルカ或

ハ州ノ諸里ニ行フ可キ規則トナル決定ヲ作り

浸潤シテ以テ里長ノ拒ミニ勝ツ事ヲ得可シ

里長ヨリ出セル警部ニ拘ハル決定ノ罰ハ刑法

ノ四百七十一個条ニアリ即チ政令ノ官署ニ於

テ正シク制シタル決定ニ背キタル者ハ一フテ

シクヨリ五フテシテ追ノ罰金ヲ命スルナリ警

視裁判所ハ決定ヲ正シク制シタルマ否ヲ審覈

スルノ權アリ如何トナレハ決定ヲ制スルノ正

シキヲ以テ罰ヲ命スルノ權アレハナリ

里ノ代人ノ体裁ヲ以テハ里長ハ理財等ノ里ニ

拘ハル利益ノ為メニ里ノ名ヲ以テ諸証文ノ取

大蔵省

替ハセヲ為ス故ニ里長ハ一个ノ人タル里ノ正
シキ代理人ナリ
千八百三十七年ノ法則ノ第十个条ノ文面ニ從
ヒ里長ハ左ノ諸件ヲ司ル
里ノ所有物ノ保護及差配ヲ司ルヲ以テ里ノ權
利ヲ保護スルニ諸文書ヲ作ル事
歳入ノ遣拂及ヒ里ノ建設ノ監督及ヒ里會計ノ
監督
歳入出簿ノ起稿及ヒ費ノ拂出シヲ命スル事
里ノ工業ノ指揮

日用品買入約定書ニ捺印スル事
法律及規則ヲ以テ規定シタル式ニ從ヒ里ノ工
業ノ請負約定書及物品ノ借貸証文ヲ作ル事
同シキ式ニ從テ賣渡シ交易分配贈遺物ノ受取
買受讓與等ノ証文ニ捺印スル事
原告或ハ被告人トナリテ訟庭ニ出テ里ノ代ヲ
為ス事
里ノ執行事務ノ体裁ヲ以テ里長ハ里ノ代ヲ為
スニ三種ノ各体ヲ以テス即チ民事理賅司法ナ
リ其外亦法律ヲ以テ別ニ命シ方ノ定メナキ里

ノ属吏ヲ命ス即チ里長ノ書記里ノ造営師等ナ
リ里ノ山林牧場田園等ノ守護人ヲ命スルハ里
會ノ許可ヲ要ス

里長ヲ後見人ト見為シ里ヲ幼主ト見為スノ説
アリト虽モ此説ハ不當ナリ若シ後見人ナレバ
許可ヲ得スシテ政令上ノ諸文書ヲ作り得可シ
然ルニ里長ハ獨權ヲ以テハ弃指ヲ止メ贈遺物
ヲ假リニ受取ル等ノ如キ保護ノ文書ノミヲ作
リ得可シ政令ノ文書ハ里會ノ許可ヲ得ルニア
ラサレハ作り得可カラズ

聽訟事務職

既ニ説キタル如ク里長ハ現今ノ制度ニ從テハ
稀ニ政令裁判ノ職ヲ勤ム
聽訟事務ニ付キテ里長ノ為ス可キ裁判ノ尤重
立タルモノハ从稅ノ官吏ト飲料ノ商人トノ間
ニ賣上ケ直段ノ布告ノ曲直ニ付キテ起レル争
訟ナリ

里長ハ但初審ニ於テ決裁ス里長ノ決定ノ上告
ハ千八百六十五年六月二十一日ノ法律以前ハ
州知事ニ上告シ州知事ハ其評議所ノ意見ヲ聞

テ決定セリ

千八百六十五年ノ法律以來州知事評議所ハ以前州知事ニ意見ノミヲ述ヘシ聽訟事務ノ諸件ヲ現今ハ獨斷ヲ以テ決裁スルノ權ヲ得タルトハ前ニ既ニ明瞭ナリ

其他里長ノ政令上ノ裁判役トナリテ決裁ス可キ爭論ハ軍隊ナクシテ旅行スル士官ノ宿料ヨリ起レル爭論ナリ此決定ヲ破ルハ先州知事ニ上告シ其後長官ニ上告シ其後又國議院ニ上告シ得可シ

政令ノ事件ニ於テハ民事及貿易事務ト異ナル所少ナカラス政令ノ事件ハ裁判ニ四級アリ民事及貿易事務ハ裁判ニ二級アルノミ

里會ノ職

里會ノ職ハ千八百三十七年七月十八日ノ法律千八百五十二年千八百六十一年ノ兩制誥及千八百六十七年七月廿四日ノ法律ヲ以テ規定セリ

里會ハ其職ヲ三様ノ任方ヲ以テ行フ即チ獨斷ノ評定通例ノ評定及意見ト建言トナリ

獨斷ノ評定

獨斷ノ評定トハ上司ノ許可ナク獨權ヲ以テ裁決スルヲ云フ然レモ郡知事ヨリ渡シタル請取証書ノ日ヨリ三十日ノ後ニ非サレハ之ヲ施行ス可ラズ

州知事ハ此決定ヲ行フ以前ニ之ヲ廢棄シ得可シ其後三十日ノ新期限内ニハ之ヲ停止シ得可亦假令既ニ施行シタル後ト雖モ不廻ノ權ヲ其儘存シ置キ州知事ハ之ヲ廢棄シ得可シ
千八百三十七年ノ法ヲ以テ既ニ示シタル獨斷

ヲ以テ評定ス可キ事件ニ猶千八百六十七年ノ新法ヲ以テ獨斷評定ノ件々ヲ加増シタリ
千八百三十七年ノ法律ノ第十七个条ニ從ヘハ里會ニ於テ左ノ件々ヲ獨斷ヲ以テ評決ス
第一里有品ノ處置即チ此里有品ヲ貸渡ス可キカ或ハ其出產物ヲ住民ノ受用ス可キカヲ定ムル

第二請負約定書及ヒ貸渡約定書ノ个条但シ野外ニアル里有品ナレバ期限十八个年ヲ越ユ可ラス其他ノ里有品ハ九个年ヲ越ユ可ラス

第三里属ノ牧畜及ヒ材木ヲ除キ其他ノ里ノ出
産物ノ受用亦及ヒ分配方尤里會ニ於テ從來仕
来ノ受用方ヲ変スル時ハ州知事ノ許可ヲ要ス
第四薪木ノ分配方

森林法ノ第百五条ヲ以テ薪木ノ配當ハ竈毎
ニ配當スルヲ要セリ即チ里中ニ居住ヲ定メ
タル一家ノ户主毎ニ配當スルヲ云フ尤此定
メニ反ス可キ旧例アルカ或ハ反ス可キ權利
ヲ有スル者アル時ハ此例ニ非ス

國會ノ謁者タルウイエン氏ノ説ニ獨斷ノ評定

ハ現時ノ事ノニニ関ス若シ将来ニ行フヲ要シ
テ里ノ所有ノ權ヲ害スル如キ受用方ニハ関セ
スト云ヘリ

千八百六十七年七月廿四日ノ新法ヲ以テ里會
ニ於テ獨斷ヲ以テ裁決スベキ件々ヲ加増セリ
此新法ハ千八百六十六年七月十八日ノ法ヲ以
テ州會ニ多分ノ權ヲ附與シタル如ク里會ニ多
分ノ權ヲ與ヘタリ

獨斷ヲ以テ評定スルノ權ヲ里會ニ與ヘタル諸
件ハ新法ノ第一个条第二个条第三个条第六个

条及七第九个条ニ掲タリ第一个条ノ文面ニ從
ヒ左ニ示ス所ノ事件ヲ里會ニ於テ評決ス
第一不動産ノ引受尤之ヲ引受ルノ費ハ其費ノ
屬スベキ仕拂期限内ニ既ニ投票シアル他ノ引
受品ノ費ト合セテ里ノ通常入金ノ十分一ヲ越
ヘザル時ニ限ルベシ

第二里ニ屬スル家屋及ヒ建設ノ貸渡シ証文ノ
个条尤其証文ノ期限ハ十八年ヲ越ユゴシス
第三大嘗繕ノ企圖取り及積り書尤此企ノ費ハ
其費ノ屬スベキ仕拂期限内ニ備ヘアル此類ノ

他ノ事業ニ備ヘタル費ト合セテ里ノ通常ノ入
金ノ五分ノ一ヲ越ス又五万ヲランクノ高ヲ越
エサル時ニ限ル可シ

第四諸市場ニ於テ受取ル可キ坐税ノ規則

第五町地除地及ヒ其他里ノ公有ニ屬スル場所
ニ家臺店或ハ乗合車ノ立場等ヲ出スヲ許シ其
為メニ納メシムルノ税

第六墓所讓與ノ税則

第七里ノ建設ノ請負

第八里ノ公用ニ里ノ所有品ヲ充用スル事尤此

里有品ハ未タ公用ニ供セサル物品ニ限ル可シ
第九義務モナク亦後日親族ノ求メモナク里ニ
贈リタル贈遺物ノ受取或ハ拒ニ

新法ノ第三个条ニ從ヒ里會ニ左ノ権ヲ有セリ
第一毎年州會ニ於テ定メタル最上額ノ定限中
ニ於テ里用ノ非常ノ費ニ給スル為ニ五個年ノ
間五サンテームヲ越ヘサル非常ノ税ヲ投票ス
ル事

第二小鄙郷路ニ給スル為ニ別段ニ三サンテ
ームノ非常税ヲ投票スル事

第三投票シタル非常ノ加税或ハ通常ノ入額ヲ
以テ返辦ス可キ里ノ借財ヲ里會ニ於テ評議シ
テ以テ擬定スル事尤通常ノ入額ヲ以テ返辦ス
ル時ハ割拂ノ期限十二个年ヲ越ユ可ラス
新法ノ第九个条ニ從ヒ左ノ諸件ニ拘ル評定ハ
獨断ナリ

第一閭税ノ廢弃或ハ減省

第二閭税ノ本税ヲ五年間延期スル事

第三五個年間ニ十分一ノ高ニ達スル返閭税ヲ
加増スル事

千八百六十七年ノ新法ノ第一第三第九个条ニ
載セタル右ノ件々ニ付テハ獨斷ノ權ヲ以テ評
定ス然レモ里長ト里會トノ同意ヲ要ス若シ同
意セサル時ハ以前ノ如ク獨斷ヲ以テセス必ス
州知事ノ許可ヲ要ス
千八百六十七年ノ法律第二二个条ヲ以テ里長ノ
同意ナシト雖モ必須ノ費ニ里ノ通常ノ入額ノ
餘リヲ充用スル事ヲ里會ニ許セリ

通常ノ評定

通常ノ評定トハ上司ノ許可ヲ得ルニ非サレハ

行フ可ラサルモノヲ云フ此評定ハ單ニ受用ノ
權ニ拘ハルノミナラズ里ノ所有ノ權利ニ拘ル
故ニ将来ノ事ニ関シ且里ノ所有品ヲ填寫スル
モ亦為シ得可シ

里會ニ於テ評定スルニ上司ノ許可ヲ要スル件
々ハ千八百六十七年ノ新法以來減省スト雖モ
獨斷ヲ以テ評定スルノ權ヲ里會ニ歸シタル第
一第三第九条ニ掲ケタル件々モ里長ト里會ト
一致セサルモ州知事ノ許可ヲ要スル事前ニ
説ク如シ

上司ノ許可ヲ要スル評定ノ諸件ヲ左ニ掲ク
里有品ニ関スル十八个年以上ノ約定書

里有品ノ讓與交易分配及ヒ里ノ入額ノ十分一
ヲ越ユルノ費ヲ要スル不動産ヲ引受ル事

州會ニ於テ定メタル最上額ヲ越ヘス十二年ノ
期限ヲ越ヘサレバ五サンテムヲ越ユル非常
加税

非常加税或ハ通常ノ入額ヲ以テ十二个年ノ期
限ヲ越ヘテ返辨スベキ借財等

右ノ数件ニ拘ル評定ハ州知事ノ許可ヲ要ス

州會ニ於テ定メタル最上額ヲ越ユル所ノ非常
加税

十二个年ノ期限ヲ越ヘ非常ノ入額ヲ以テ返辨
ス可キ借財

右ノ二件ニ付テノ評定ハ帝ノ制誥ヲ以テ許
可ス若シ歳入十萬フランツヲ越ユル里ナレ
ハ國議院ニ於テ作ル所ノ代法制誥ヲ以テ許
可ス

里會ニ於テ投票シタル閭税ノ創立
親族ヨリ求メル贈遺物ヲ受ル事

右ノ二件ハ代法制詰ヲ以テ許可ス
百萬ヲランヅヲ越ユル借財或ハ未タ返辨セサ
ル借財ノ高ニ合セテ百萬ヲランクヲ越ユル借
財

右ヲ許可スルニハ必法律ヲ以テス

千八百六十七年ノ法律中ニハ三百萬ノ入額ア
ル都會ノ為メニハ別ニ規則ヲ設ケタリ就中巴
里府及ヒリヨン府ニ於テハ非常稅ヲ起シ借財
ヲ起スニハ都會限リニテ為スナク必ス法律
ヲ以テ許可スルヲ要ス

里ノ入出簿及ヒ里ニ拘ル訴訟モ亦通常評定ニ
屬スト雖モ精細ニ之ヲ説カンカ為ノ別ニ題ヲ
設ケ説ク可シ

里ノ入出簿

里ノ入出簿ハ費ト入額トヲ載ス費ニハ必須アリ
又不必須アリ入額ニハ通常アリ又非常アリ
必須ノ費ハ千八百三十七年ノ法律ノ第三十個
条ニ掲ケタリ之ニ載セサル他ノ費ハ即チ不必
須ナリ必須ノ費ノ中ニ含蓄スル所ノ重立タル
モノ左ノ如シ

市廳ノ諸費法 什輯録ノ代價森林守護人及ヒ田園守護人ノ給料墓所ノ藩籬及ヒ營繕及借財ノ拂ヒ

通常ノ入額ハ千八百三十七年ノ法律三十一個条ニ掲ケタリ之ニ含蓄スル所ノ重立タルモノノ左ノ如シ

貸渡シタル物品ヨリノ入金通常加税ノ入金閤税ノ入金墓地讓與ノ入金政令文書及民生証書寫料ノ入金

非常ノ入額ハ左ノ入金ヲ含蓄ス

非常加税讓與ノ物品ノ代價贈遺物元金ノ拂濟皆濟ノ年賦金非常代本ノ代金及借入金等通常或ハ非常ノ入金ハ必須ニ必須ノ費ニ別段ニ配適スル事ナク通常非常ヲ區別セス都テ必須ニ必須ノ費ニ通シ充ツベシ故ニ千八百六十六年ノ法以前ニ歳入出簿ヲ篇毎ニ分テ州ノ為メニ定メタル如キ此ヲ彼ニ配ニ彼ヲ此ニ充ツルト云フ定メ亦アラサルナリ然レモ小学及ヒ鄙郷道路ノ為メニ起シタル別段ノ加税臨時ノ費ノ為メニ起シタル非常加税ハ必ス其為ニス

ル所ノ物ニノ三用ユ可シ

必須ノ費ハ必ス里會ニ於テ投票セサルヲ得ス
若シ投票セサレハ州知事自ラ歳入出簿ニ之ヲ
記載ス若シ通常ノ入金不足スル時ハ非常ノ税
ヲ以テ之ヲ補フ如何トナレハ此費ハ所謂必須
ノ名ノ如ク決シテ省ク可ラサルモノナレバナ
リ。

里ノ入出簿ハ里長之ヲ作り里會ニ於テ投票シ
通例州知事之ヲ許可ス但千八百六十七年七月
廿四日ノ法律ニ後ニ三百萬フランクノ歳入ア

ル都府及ヒ慈惠ノ建設ノ入出簿ハ帝之ヲ許可

ス

千八百六十七年ノ法律以來入出簿ヲ以テ必須
ノ費ニ當ツ可キ金額ヲ定メ非常ノ入金ヲ必須
或ハ不必須ノ費ニ當ルヲナキ時ハ其金額ヲ變
ス可ラス

里長ノ政令會計ハ里會ニ於テ討論シ州知事之
ヲ許可ス

里ノ勘定役ノ錢財會計ハ里ノ入金ノ三万フ
ラニクテ越ユルヲ越ハサルトニ依リテ州知事評

議所或ハ統計官ニ於テ正シヲ受ク

里長ハ現仕拂期限ヲ開キタル翌年三月十五日迄拂ヒ出シヲ命シ得可シ而メ仕拂期限ヲ閱ルノ期限タル三月三十一日迄仕拂ス可シ

里ニ拘ル訴訟

里ニ拘ル訴訟ハ里會ニ於テ評定シタル上訴ルノ權ヲ里長ニ歸シ里長之ヲ為ス此事ニ付テハ里ハ原告人タルカ被告人タルカヲ區別ス可シ若シ里ノ原告人タル時ハ後見職タル州知事評議所ノ許可ヲ要ス若シ之ヲ闕ク時ハ受理スル

トナレ此許可ハ裁判ノ諸級毎ニ皆之ヲ要ス平民モ亦里ニ関スルト思フ訴訟ヲ州知事評議所ノ許可ヲ得テ訴得可シ右ノ三件ヲ欠ク可ラス

第一平民ノ姓名里ノ簿書ニアリテ税ヲ納メテ居ルモノ

第二其事件ニ付テ評定スル事ヲ前以テ里ニ報知スト雖モ里ニ於テ訴訟ヲ為スヲ拒ミ或ハ情リタル時

第三訴訟ノ裁決里ニ關係スル事

州知事評議所ニ於テ許可ヲ拒ムルハ其決定書
ノ布告ノ日ヨリ始メテ三個月間ニ里或ハ平民
ハ国議院ニ上告シ得可シ此上告ハ聴訟事務ニ
非ス如何トナレハ州知事評議所ハ政令ノ後見
職ノ任ニ居レハナリ故ニ政令ノ式ヲ以テ上告
ヲ受ケ及ヒ裁判ス即チ傍聞ヲ許サス口述スル
事ナク又国代ヲ立ルヲナシ此事件ハ国議院内
務課ニ於テ評決ス
里ノ被告人タル時ハ里ニ對シテ訴出ル所ノ者
ハ前以テ訴訟ノ道理ヲ記載スル文書ヲ州知事

ニ送ルヲ要ス州知事ハ其文書ヲ里長ニ渡シ其
事件ニ付テ評定スル為メニ直ニ里會ヲシテ會
合セシムルヲ許可ス
里會ノ評定ハ常ニ州知事評議所ニ服役シ州知
事評議所ニ於テ里ヲ訟庭ニ出スヲ許ス可キカ
否ヲ決定ス評議所ノ決定ハ原告人ニ渡シタル
文書請取書ノ日付ヨリ始テ二個月ノ期限内ニ
作ル可シ
評議所ヨリ許可ヲ與ヘタル時ハ即チ訟庭ニ出
爭論スルノ權ヲ里ニ歸シタルナリ若シ拒ムカ

或ハ二个月中ニ決定セサル時ハ又原告人ハ里
ニ對シテ訴訟シ得可シ時宜ニ因テハ抗傳ノ裁
判ヲ受ケ得可シ

許可ノ拒ミノ時ニ里モ亦政令上ノ式ヲ以テ三
个月間ニ國議院ニ上告シ得可シ

國議院ハ此上告ヲ二个月ノ期限内ニ決定ス此
上告アル時ハ國議院ノ裁決アル迄或ハ二个月
ノ期限ノ果ル迄訴ヲ留メ得可シ

被告人タル里ハ訟庭ニ出ルノ許可ヲ一度得タ
レハ裁判ノ他ノ階級ニ出テ同シク被告人ノ務

メヲ續クル為メニ更ニ新許可ヲ受ルヲ要セス
所有ノ権ニ拘ル訴訟及ヒ里ノ入金ノ請取ノ為
メ里長ノ作ル簿書ニ抵抗スル為ニハ州知事評
議所ノ許可ヲ要セス

都テ政令ノ裁判ニ於テハ此許可ヲ要セサル事
知ル可シ

里中ノ一區ヨリ其里ニ對シ或ハ同里中ノ他ノ
區ニ對シテ訴訟スル時ハ其兩區ノ為メニ里會
議員ノ内ニ或ハ高稅ヲ納メ居ル住民ノ内ニ撰
ヒタル三人或ハ五人ノ委員ヲ州知事ニテ設ク

而シテ訴訟ハ委負ノ示シタル委負中ノ一人之ヲ處分ス
里或ハ里ノ區ニ對シテ訴訟ノ理ヲ得タル方ハ諸雜費ヲ償フニ及バズ

意見及建言

里會ハ意見ヲ述ベ得可シ其意見ニ二様アリ一ハ官署ヨリ必ス問フ可キ者ナリ一ハ官署ノ意ニ任スルモノナリ即チ州會及ヒ郡會ノ条ニ必須意見不必須意見^見區別シタル如ク同様ナリ里會ノ意見ヲ必ス問フ可キノ件々ヲ左ニ掲ク

里ノ經界ノ改正

慈惠建設ノ創立

慈惠建設ニ贈遺物ヲ受ル事

借用引受交易讓與訴訟約束ノ為ニ慈惠ノ建設或ハ寺院會計所ニテ願出タル許可及ヒ此等ノ建設ノ入出簿

其他政令ノ官署ニ於テ意見ヲ問ハント要セハ何事ニ依ラズ都テ問ヒ得可シ

千八百三十七年ノ法律ノ二十四個条ヲ以テ地方ノ利益タル都テノ事件ニ付キ建言スルヲ里

會ニ許セリ

附録

セーン州及ヒコローン州ノ組立巴理及ヒリヨ
里ノ組立

セーン州

セーン州ニ於テハ執行事務ハ州知事及ヒ警部
長官共ニ之ヲ司ル

セーン州知事ハ專ラ巴里府ノ理財ノ事ニ付キ
注意ス他州ノ知事ニ比スレハ州警部ヲ任ス
ル事少シ

警部長官ハ巴里ノ地方取締ノミナラスセーン
州及ヒセーンエトワーズ州ノ二三ノ里ノ取締
ヲ任セリ

セーン州ノ諸里ニ於テハ地方警視ノ職ヲモ兼
子亦内務省ニ於ル安寧ノ課ノ職務ニ付テモ任
セリ

セーン州ニ於テハ評議事務ハ六十八人ノ州委
員ヲ以テ為ス此六十八人ノ内六十人ハ巴里ヨ
リ出シ四人ツ、ソー及ヒサニデーノ西郡ヨ
リ出ス一郡毎ニ四邑ヲ含ム巴里ヨリ出シタル

六十人ハ地方ノ委員ヲ兼ヌ

セーシ州ノ州委員ハ千八百三十四年四月廿日ノ法律ヲ以テシタル如キ撰挙スルモノニ非ス帝ノ自ラ之ヲ命スルモノナリ

委員ノ職ハ州會ノ職ト同様ナリ然レ氏借財及ヒ非常加税ヲ起スハ法律ヲ以テスルヲ要スル事知ラサル可ラス

巴里郡ハ郡會ヲ立テス巴里府ハ全府ニテ一郡タルカ故ニ郡會里會ト混合スレバナリソ一及ヒサンデニ一ノ郡會ハ九員ノ議員ヲ置

キ直チニ帝ヨリ命スルモノナリ

巴里里

巴里府ノ執行事務ハセーシ州ノ州知事ニテ司ル巴里ノ二十區ノ區毎ニ里長一人及ヒ副里長二人アリ

セーシ州知事ハ巴里府ノ理財ニ注意シ且其府ノ代人ナリ

警部長官ハ地方ノ警部ニ注意ス

里長ハ專ラ民生撰挙ニリ一護兵教育慈惠ノ事及ヒ直税ニ拍ル職ヲ任ス

評議事務ハ帝ヨリ命スル六十人ノ地方委員ニ
テ行フ此委員ハ年々一度ノ定會アリロ
知事ノ命ニ依テ會ス

ローン州

ローン州ハ執行事務ニ拘リテ他州ト異ナル所
アリ

ローン州ノ知事ハ他州ノ知事ノ通常ノ職務ヲ
任スルノ外ニリヨン里及ヒローン州中ニアル
二三ノ里ノ地方警部ノ職ヲ任ス
ローン州知事ハリヨン里ノ理財ヲ注意シ其里

ノ代人タリ依テローン州ノ知事ハ其州ノ知事
ト警部長官トリヨン里ノ總里長トヲ兼ヌルモ
ノナリ

リヨン里

リヨナ里ノ執行事務ノ官署ハローン州知事及
ヒリヨンノ五區ノ區毎ニ置ケル里長一人及ヒ
副里長二人ニテ組立皆帝ヨリ直ニ命スルモノ
ナリ

前ニ説ク如クローンノ州知事ハリヨン里ノ地
方取締及理財ノ事ヲ任シテ其里ヲ代理ス

里長及副里長ノ職ハ巴里ト同様ナリ

リヨン里ノ評議事務ハ巴里ニ於ル如ク帝ヨリ

命スル議員ヲ以テ組立タル里會ニ托ス

リヨン里會ハ議員三十六名ナリ

巴里ニ於ル如クリヨンは於テモ借財及非常加

税ヲ起スハ法律ヲ以テス可シ

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

大
雅
管